

◆現場教員による地震防災教育プログラムによる実践（栃木県那須町）

○ステップ1・・・「事前学習」 緊急地震速報を聞いた時の「正しい行動」を学ぼう 【小学・45分/中学・50分】

【指導案】ステップ1_事前学習・指導案
 【授業】1時限を使った教員による防災授業

【ワークシート】ステップ1_事前学習・ワークシート「地震から自分の身を守ろう！」
 【授業形式】全体学習→グループワーク→代表者の発表→まとめ

小学校



中学校

【実践例】担任の先生が防災教育プログラムを使用して授業を行った。小学校では、発達段階に応じて自校化した内容で授業が実践できた。プログラムの実践前・後に、児童生徒へのアンケートによって授業による学習効果の向上が確認できた。

○ステップ2・・・「実践訓練」 緊急地震速報による対応行動訓練 【時間短縮可】

【訓練プログラム】ステップ2_実践訓練プログラム3(5分) 【訓練】対応行動のみを行う訓練(ショート訓練)

小学校



先生は指示を出さない



職員室

中学校

【実践例】授業中・休み時間・掃除の時間に緊急地震速報を流し、その場で適切な対応行動を行う訓練を実践した。抜打ち訓練の活用により、主体的な思考力がより身に付き、条件反射的に行動できる能力の向上が確認できた。教員も身を守る行動をとる。

○ステップ3・・・「実践訓練」 緊急地震速報を聞いた時の行動を振り返ろう

【指導案】ステップ3_事後学習・指導案(20分) 【ワークシート】ステップ3_事後学習・ワークシート「訓練をふりかえろう！」
 【実践例】対応行動訓練での自分の行動について、ワークシートを使って振り返る(訓練の自己評価)。自己評価後、自分のとった行動を発表し合って、様々な場所での適切な行動について理解を深めた。

◆現場教員による地震防災教育プログラムによる実践（栃木県鹿沼市）

○ステップ1・・・「事前学習」 緊急地震速報を聞いた時の「正しい行動」を学ぼう 【小学・45分/中学・50分】

【指導案】ステップ1_事前学習・指導案

【ワークシート】ステップ1_事前学習・ワークシート「地震から自分の身を守ろう！」

【授業】1時限を使った教員による防災授業

【授業形式】全体学習→グループワーク(推奨)→代表者の発表→まとめ



小学校

中学校



【実践例】担任の先生が防災教育プログラムを使用して授業を行った。小学校では、発達段階に応じて自校化した内容で授業が実践できた。プログラムの実践前・後に行った児童生徒へのアンケートによって、授業による学習効果の向上が確認できた。

○ステップ2・・・「実践訓練」 緊急地震速報による対応行動訓練 【時間短縮可】

【訓練プログラム】ステップ2_実践訓練プログラム3(5分)

【訓練】対応行動のみを行う訓練(ショート訓練)



先生は指示を出さない

小中合同訓練

【実践例】小中学校ともに同じ時間(休み時間)に緊急地震速報を流し、その場で適切な対応行動を行う訓練のあと、小中学校の合同訓練(合同引渡し訓練→避難所運営訓練)の最後に緊急地震速報を流し、体育館に集まった児童生徒、保護者の実践的な訓練を行った。訓練後、児童生徒の代表による訓練の自己評価(感想)を述べる時間を設けた。

○ステップ3・・・「実践訓練」 緊急地震速報を聞いた時の行動を振り返ろう

【指導案】ステップ3_事後学習・指導案(20分)

【ワークシート】ステップ3_事後学習・ワークシート「訓練をふりかえろう！」

【実践例】対応行動訓練での自分の行動について、ワークシートを使って振り返る(訓練の自己評価)。自己評価後、自分のとった行動を発表し合って、様々な場所での適切な行動について理解を深めた。